

21 世紀 COE「京都大学化学連携研究教育拠点」外国人講演会 開催報告書

(化学研究所) 福田 猛

研究集会名：化学研究所 高分子化学セミナー

演者：Professor Gregory Russell
(University of Canterbury, New Zealand)

演題：Do we really understand the kinetics of emulsion polymerization?

場所：京都大学化学研究所 3 階セミナー室

日時：2005 年 4 月 12 日 (火) 15:00 ~ 17:00

総参加者概数：約 30 名

主な出席者：福田 猛、辻井敬亘、大野工司、後藤 淳(化学研究所)、久保敬次((株)クラレ)、渡辺健一((株)チッソ)、黒山昭治((株)竹中製作所)、林寛之((株)互応化学)

講演内容：

Gregory Russell 教授は、ラジカル重合の反応速度論的研究者として著名である。特にパルスレーザー重合(PLP)法を用いた停止反応過程に関する研究で、モノマー転化率(高分子濃度)の上昇とともに停止反応速度係数が 3~4 桁にもわたって低下することを初めて観測し、大きな反響を呼んだ。

本講演では、乳化重合の基礎的な諸問題に関する最近の研究成果を述べられた。特に従来その明確な描像が得られていなかった開始種および成長種の生成・消滅と相関移動に関する明確な見解を提示され、これらに関する活発な議論がなされた。